

目次

NO	講演内容(演題)
1	各職種の派遣
2	がんについて
3	がん検診を受けましょう！
4	命（いのち）の授業① 新しい「命」の誕生について
5	命（いのち）の授業② 体験学習
6	思春期講座① 若年妊娠について
7	思春期講座② 性感染症と避妊について
8	思春期講座③ 自分の将来を考える
9	看護師による熱中症対策
10	インフルエンザ・ノロウイルス対策
11	予防は手洗いから！！-正しい手洗い方法を知っていますか？
12	食中毒予防について
13	血圧でわかる、あなたの動脈硬化ー脳卒中・生活習慣病を予防しようー
14	医薬品の正しい使い方 ～知って得するくすりの話～
15	薬学講座（たばことアルコールの害について）
16	薬学講座（危険ドラッグ・大麻・覚せい剤）
17	病院の医療機器を知ろう（みて、さわって、学ぼう）
18	自分のお口の中を知ろう！
19	口腔ケアについて

NO	講演内容(演題)
20	大腿骨近位部骨折後のリハビリテーション
21	家庭でできる転倒・転落予防
22	STOP！転倒災害
23	ロコモ・フレイル・サルコペニアの予防
24	骨粗鬆症予防と運動
25	糖尿病（予防）の運動療法
26	肥満・動脈硬化予防の運動
27	赤ちゃんの発達に合わせた遊び方講座
28	生まれてから歩くまでの赤ちゃんの発達
29	発達の遅れが気になる赤ちゃんへの体操講座
30	日常生活や園、学校生活の中の困り事に対する日常支援について
31	保育園・幼稚園・療育施設で活かせる発達支援講座
32	ずっと口から食べるために ～飲み込みの機能と障害について～
33	採血結果はどう見るの？
34	細菌感染症はどうやってわかる？
35	超音波（エコー）検査のお話
36	誤嚥性肺炎予防ーえん下と口腔ケア編ー
37	誤嚥性肺炎予防ー栄養と運動編ー
101～は直接お問い合わせください	

※演題名をクリックすると詳細ページにリンクします。

1.各職種の派遣

内容

将来、同じ医療職を目指す子供が増えるといいな。

「将来の自分の仕事」を見つけるお手伝いをします。各学校で行われるキャリア教育に、希望する職種の職員を派遣します。それぞれの仕事の内容、必要な資格や能力、技術や働き甲斐、今のうちにやっておきたいことなど、生徒とお話しします。パワーポイントを使った説明や座談会を行います。

対象

小学校や中学校、高校での職業講話を想定しています。

講師

医師・看護師・各医療技術職など



2. がんについて

内容

がんってなあに？
よく聞く病気だけど、
どんな病気か知って
おこう！

2人に1人が「がん」になる時代。がん＝死を連想したり、怖い病気のイメージを抱いたりする方もいると思います。

どういう病気なのか、治療や予防について、がんとともに生きるとはどんなことか、など正しい知識を学んでいきましょう。

（文部科学相・外部講師を活用したがん教育ガイドラインに沿ったプログラムを作成。各学校のがん教育の進捗にあわせてカスタマイズができます。）

対象

小学生、中学生、高校生
児童や生徒、先生、保護者、地域や企業の方

講師

医師・認定看護師など、がん診療を専門とする医療者



3. がん検診を受けましょう！

内容

この講座は、がん検診の目的と効果についてパワーポイントを使って説明します。現在、日本人の2人に1人は一生のうち何らかのがんにかかるといわれています。がんはすべての人にとって身近な病気と言えます。がんについて正しい知識を身につけ、検診によりがんの予防、更にはがんの早期発見・早期治療につなげましょう。

がん検診について正しい知識を身につけましょう

対象

企業で働く主に40歳以上の方

講師

健診センター職員



4. 命（いのち）の授業①

内容

新しい「命」の誕生の場面に立ち会っている助産師が、命の大切さや尊さを伝える講座です。命はどのように誕生するのか。スライドやDVDを使用して、命の誕生までをお伝えします。新しい命が生まれることは奇跡的であり、生きていることの素晴らしさを感じることができる講座です。

「命」について、一緒に考えてみよう！

対象

中学生
保護者の方も一緒に受けていただいても構いません

講師

周産期センター助産師・看護師



5. 命の授業②

内容

妊婦体験：妊婦ジャケットを着用することで、妊婦さんの経験する大変さを知ることができます。母親への感謝の気持ちや、妊婦さんへの思いやりの心が芽生えることでしょう。

人形を使った育児体験：およそ3Kgの赤ちゃん人形を抱っこしたり、おむつを替えたりする体験をします。

心臓の音を聞く：聴診器で自分や友達の心臓の音を聞く体験です。心臓の音＝命の音を実際に聞いて、生きていることの実感、命の尊さを感じることができるでしょう。

ジャケットや人形等、教材の数に限りがあるため、人数や所要時間については、事前にご相談ください。

体験を通して、
命について楽
しく学ぼう！

対象

中学生

No.4 「新しい「命」の誕生について」、の講座と組み
合わせると効果的です。

講師

周産期センター助産師・看護師



6. 思春期講座①

内容

若年妊娠の実際について、講義を通して学び、若年での望まない妊娠を予防することを目的としています。性について、インターネットで様々な情報があふれる今こそ、安心できる科学的な正しい情報を伝える必要があります。中高生の今、妊娠したらどんなことが起こりうるのかを考えてもらう授業を行います。

たくさんの妊娠・出産・育児をみている助産師が、リアルをお伝えします

対象

中学生（2～3年生） 高校生

講師

周産期センター助産師



[←目次へ戻る](#)

7. 思春期講座②

内容

自分と相手を思いやる心や、体を守る方法をお伝えします。

近年、性行為の低年齢化によって、中高校生でも性感染症が広がりつつあります。性感染症に対する正しい知識を持つことが必要です。性感染症は予防できることを学び、今自分ができること、相手を大切にすることについて考えてもらいます。

性感染症の予防のための避妊方法について講義を行います。避妊については、No.6の講座内容と組み合わせることも可能です。

対象

中学生（3年生）、高校生

講師

周産期センター助産師



[←目次へ戻る](#)

8. 思春期講座③

内容

将来なりたい職業のために、これからどんな学校に何年通うのかな？何歳で結婚して、何人の子供のお父さん・お母さんになりたい？人生設計を描くワークを行います。もしも高校生で自分や相手が妊娠してしまったら、思い描く人生はどうなるかな？また、生活習慣によって病気になるリスクもあります。幸せな人生を送るために、思春期の今から生活習慣を整えることの大切さをお話しします。

自分の将来のために、今からできることを考えてみよう。

対象

中学生、高校生

講師

周産期センター助産師



[←目次へ戻る](#)

9.看護師による熱中症対策

内容

熱中症の予防
や対処方法を
学びましょう。

なぜ熱中症になるのか、熱中症が人体に与える影響は何か、どうしたら予防できるか、熱中症になったらどう対応すべきかを学べる講座です。

対象

中学生

講師

救命救急センター 看護師



10. 感染予防

内容

正しい予防方法を
知り感染拡大を防ぎ
ましょう。

この講座は、インフルエンザウイルスとノロウイルス感染予防について知って頂くことを目的にパワーポイントを使って説明致します。ウイルスの特徴や正しい予防方法と家庭内・職場で発生した場合の対応についてもお話し致します。

対象

学校・企業など

講師

看護師・検査技師・薬剤師



[←目次へ戻る](#)

11. 予防は手洗いから

内容

この講座は、感染対策の基本である手洗い・手指消毒について知って頂くことを目的にパワーポイントを使って説明致します。正しい手洗い・手指消毒方法と何故行わなければならないのかについてもお話し致します。

正しい方法を知り
感染を防ぎましょう。

対象

学校・企業など

講師

看護師・検査技師・薬剤師



[←目次へ戻る](#)

12. 食中毒予防について

内容

正しい予防方法を
知り食中毒発生を防
ぎましょう。

この講座は、食中毒予防について知って頂くことを目的にパワーポイントを使って説明致します。食中毒はまずは予防することが大切です。正しい予防方法についてお話し致します。

対象

学校・企業など

講師

看護師・検査技師・薬剤師



[←目次へ戻る](#)

13. 血圧でわかる、あなたの動脈硬化

内容

この講座は、普段見慣れている血圧の値から自分自身の動脈硬化を捉えていきます。
生活習慣病を予防することを目的としてパワーポイントを使用し説明いたします。生活習慣病は若い時から行うことで予防することが出来ます。

動脈硬化について理解しましょう

対象

30歳～50歳代の働き盛りの方々
60～80歳代の方々
(全年齢対象です)

講師

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師



[←目次へ戻る](#)

14. 医薬品の正しい使い方

内容

処方薬、市販薬、
サプリメントと薬に
ついて色々なことが
学べるよ！

この講座は、「医薬品」について正しい使い方を理解することを目的に市販薬を含め各薬剤の特徴や内服方法、飲み忘れたときの対処法など薬の基本についてパワーポイントを使って説明します。「食前、食間、食後の違いは？」「薬は何で飲めばいいの？」「サプリメントってどうなのだろう？」等、知って得する薬の情報が満載です。

対象

小学生、中学生、高校生、一般企業、地域住民の方々

講師

薬剤師



[←目次へ戻る](#)

15. タバコとアルコールの害

内容

この講座は、たばことアルコールの健康被害について理解することを目的とし、パワーポイントを使って説明します。気軽に手に入るたばこやアルコール。興味本位で手を出す青少年は少なくありません。成人期を迎える前に行う喫煙、飲酒によって、青少年が受ける健康被害やそれに付随する社会問題について学ぶことが出来る一コマです。

たばこと
アルコールの害について学ぼう!

対象

小学生、中学生、高校生

講師

薬剤師



[←目次へ戻る](#)

16. 危険ドラッグ・大麻・覚せい剤

内容

この講座は、薬物（危険ドラッグ・大麻・覚せい剤等）の危険性や習慣性を学び、薬物乱用の恐ろしさを理解することを目的としています。「やせられる」「勉強がはかどる」「肌がきれいになる」といったプラスのイメージは全くのでたらめです。薬物乱用が与える身体的・精神的影響やその原因について図解を用いて分かりやすく説明します。

対象

小学生、中学生、高校生、一般企業、地域住民の方々

講師

薬剤師

薬物

(危険ドラッグ・大麻・覚せい剤)について誤解していませんか？



[←目次へ戻る](#)

17. 病院の医療機器を知ろう

内容

みて、さわって学ぼう！医療機器のあれこれ！！

病院で使用されている医療機器や器材類の正しい取り扱いや使用目的、その効果等を知ってもらい、実際に触り、体感してもらいたいと思います。病院では、病気の診断や治療目的で使用されている機器がたくさんあります。屋外施設でもAED等の普及により、医療機器を扱う機会も増えてきています。是非、この機会に医療機器の正しい取り扱い方について学びませんか。

対象

小学校、中学校、高校のキャリア教育授業へ参加し、将来、医療職を目指すきっかけになればいいなと思います。

講師

医療機器を管理している臨床工学技士



18. 自分のお口の中を知ろう

内容

この講座では、子供たちに口や歯のはたらきや虫歯の成り立ちについてパワーポイントを使って説明し、歯磨きの大切さを学んでもらいます。
口腔衛生について興味を持ってもらい、一生を通して自分の歯で美味しくご飯を食べたり、楽しくお話したりできるように説明します。

歯は一生もの！
子供のうちから歯を
大事にしましょう！

対象

乳歯から永久歯への生え替わりの時期である、小学生を対象としています。

講師

歯科衛生士



19. 口腔ケアについて

内容

楽しみながら誤嚥性肺炎を予防していきましょう！

この講座では、誤嚥性肺炎や口腔内からの感染症を予防するために、誤嚥性肺炎の原因や口腔ケアの方法についてパワーポイントを使ってわかりやすく説明します。実際に口腔体操などを行いながら、楽しく学んでいただきます。

対象

高齢者施設の利用者やスタッフ、在宅で介護を行っている方などを想定しています。

講師

歯科衛生士



20. 大腿骨近位部骨折後の リハビリテーション

内容

骨折後のリハビリテーションの重要性と効果的な方法について説明します。
実際のリハビリテーションの目的や内容、日常生活の動作を取り戻すためのポイントなどを解説します。

対象

大腿骨近位部骨折を受傷した方や人工股関節置換術を受けられた方、もしくはその家族の方。

講師

理学療法士

術後の制限について解決の糸口になれば嬉しいです。



[←目次へ戻る](#)

21.家庭で出来る転倒・転落予防

内容

健康寿命1位の町
を目指し、共に学び
ませんか？

寝たきりの主要因に『転倒』が挙げられます。
ここでは『転倒』の主な要因や転倒予防のための手軽な運動・環境等について学んでいきます。
健康寿命を延ばしたいとお考えの方、転倒なんて自分には無縁だとお考えの方に是非聞いて頂きたいです。

対象

自治会や老人会等からの依頼、介護予防事業等からの依頼を想定しています。

講師

理学療法士



[←目次へ戻る](#)

22. STOP！転倒災害

内容

転倒災害は最も多い労働災害ってご存じですか？厚生労働省と労働災害防止団体では、転倒災害を撲滅するため「STOP！転倒災害プロジェクト」を推進しています。ここでは転倒について企業の方に特化した内容をお話しさせていただきます。

転倒など無縁だ！！
なんて思わず是非聞いて頂きたいです。
(特に55歳以上の方、必見です)

対象

企業向け

講師

理学療法士



[←目次へ戻る](#)

23. ロコモ・フレイル・サルコペニアの予防

内容

人生100年時代を健康で幸せに生き続けるためには、平均寿命と健康寿命の差を縮めることが重要となります。そのためには、ロコモ・フレイル・サルコペニアを予防することが重要であり、その解説と実際に予防体操を行います。

対象

ご自身の健康に興味のある方、最近歩きづらくなったと感じる方

講師

理学療法士

いつまでも自分で歩
き続けるために、
予防方法を知ってお
こう！



[←目次へ戻る](#)

24. 骨粗鬆症予防と運動

内容

運動習慣を身につけて健康寿命を長くしよう

本講座では、骨粗鬆症予防の重要性を予防の観点からお話します。
運動の効果や運動の方法、生活習慣等について紹介させていただきます。
説明の後、実際に皆さんと運動し体験して頂きたいと考えています。

対象

60歳以上の方を対象とします。

講師

理学療法士



25. 糖尿病（予防）の運動療法

内容

糖尿病は予防が大事だから、みんなで勉強しておこう

食事の欧米化が進んだことにより、小児、成人にかかわらず糖尿病になる人が増えております。予防も含めて糖尿病は運動によって維持、改善を図ることができます。

運動がなぜよいのか、どのような運動が良いのか、どのぐらいの頻度でやればよいのかなどについて学んでいきたいと思います。

対象

成人で糖尿病について気になる皆様

講師

理学療法士



26. 肥満・動脈硬化予防の運動

内容

肥満や動脈硬化は、身体にどんな悪さをするのかな？

「少し太っているだけ」「血管が硬くなっているだけ」と肥満や動脈硬化を甘く見てはいませんか？
これらは様々な病気の原因となり、健康寿命の低下に繋がります。なぜ肥満や動脈硬化が進行してしまうのか原因を知り、予防や治療について学んで、元気に長生きしましょう。

対象

運動不足やメタボが気になっている40歳以降の方

講師

理学療法士（心臓リハビリテーション指導士）



27.赤ちゃんの発達に合わせた遊び方講座

内容

毎日の赤ちゃんとの関わりが楽しくなる講座です。

生まれてから歩く・話し出すぐらいの1～2年の間赤ちゃんは驚くほど大きな成長をし、様々な経験をします。赤ちゃんの発達を紹介し、お勧めの遊び方や関わり方を紹介します。新しい遊び方を知ることは、より深く赤ちゃんの力を知ることにつながります。

対象

- ・発達支援センター
- ・赤ちゃんの支援のサークル
- ・保育園に通っている親子や保育士さんなど赤ちゃんに興味がある方全般

講師

理学療法士（NICU退院後の赤ちゃんのフォローや発達がゆっくりな子の支援を担当）



[←目次へ戻る](#)

28.生まれてから歩くまでの赤ちゃんの発達

内容

赤ちゃんの力を
知って、その魅力を感じて欲しいです。

赤ちゃんの発達は不思議な事にあふれています。赤ちゃんは世界をどうやってみてるんだろう、どんなことを感じているんだろう、と赤ちゃんの気持ちになって様々な現象を紹介します。講座を受けたことでさらに日々の子育てが楽しくなる講座を目指しています。

対象

- 発達支援センター
- 赤ちゃんの支援のサークル
- 保育園に通っている親子や保育士さんなど赤ちゃんに興味がある方全般

講師

理学療法士（NICU退院後の赤ちゃんのフォローや発達がゆっくりな子の支援を担当）



[←目次へ戻る](#)

29. 発達の遅れが気になる赤ちゃんへの体操講座

内容

些細な心配事も気軽に相談してください。

赤ちゃんの発達面について、日々の子育てで感じる不安や心配事を支援する講座です。「お座りが苦手で」「ハイハイをしなくて」などについて、理学療法士が評価し、その子にあった遊び方や関わり方をわかりやすく紹介します。

対象

- 発達支援センター
- 赤ちゃんの支援のサークル
- 保育園に通っている親子や保育士さんなど子どもの発達に不安がある方

講師

理学療法士（NICU退院後の赤ちゃんのフォローや発達がゆっくりな子の支援を担当）



[←目次へ戻る](#)

30.日常生活や園、学校生活の中の困り事に対する支援について

内容

普段の困り事が解決できるように支援します。

運動の苦手さ、お箸の使い方、書字、読み書き、発音、言葉の発達のゆっくりさ、注意、合理的配慮などの困り事に関して、どのように考え、支援していくか具体的な方法を紹介します。

対象

保育園や幼稚園、こども園の先生方、小・中・高校の先生方、発達が心配なご家族の集まりなど

講師

理学療法士，作業療法士，言語聴覚士



31. 保育園・幼稚園・療育施設・ 学校で活かせる発達支援講座

内容

保育園や幼稚園、療育施設、学校などに通っているお子さんの、その時期や場面にあった発達支援の方法をリハビリテーションの視点から紹介します。

リハビリ専門職の
視点から発達支援方
法をお伝えします。

対象

保育園や幼稚園、こども園の先生方やご家族
療育施設、小・中・高校
発達が心配なご家族の集まりなど子どもの発達に興味
がある方々

講師

理学療法士，作業療法士，言語聴覚士



32. ずっと口から食べるために

内容

この講座は、食べて生活することを長く続けてもらうことを目的に、どうやって食事食べているのか、安全に食べるための予防方法について説明します。ご自身の飲み込みの機能を確認してもらいながら、こういったものが食べやすいのか食べにくいのか、飲み込みの機能を落とさないための運動はどんなものかを知っていただき、口から食べることを長く続けられるようにしていきます。

対象

飲み込みの機能が落ちてきたと感じる方、嚥下障害のある方のご家族など

講師

言語聴覚士（飲み込みのリハビリを専門としています）

口から食べられ
るってとても大事な
ことだね！



[←目次へ戻る](#)

33. 採血結果はどう見るの？

内容

この講座は、血液検査の結果をどのようにみるか？血液検査を身近に感じてもらうことを目的に、血液検査の内容についてパワーポイントを使って説明します。採血から血液検査実施までの様子を動画や写真で説明します。各検査項目について、「何を調べる検査なのか？その検査値をどうみればいいのか？」を、数例クイズをあげ、一方的に説明するのではなく、聞きながら一緒に考えて頂けるようにしています。

「血液検査で分かること」
～何が分かるの？どう見ればいいのか？～

対象

大人（血液検査をやっても結果をみたことがない人）

講師

検査技師（生化学・免疫・糖尿病関連検査を専門としています）



[←目次へ戻る](#)

34. 細菌感染症はどうやってわかるの？

内容

感染症は
早期発見・早期治療
で広げない

近年、流行している新型コロナウイルス感染症やインフルエンザウイルス・ノロウイルスなどのウイルス感染症、食中毒や薬剤耐性菌などの細菌感染症について、どんな症状が出て、どんな検査をして診断に結びつくのかを説明します。日常生活と隣り合わせの感染症を正しく知ることによって感染症を防ぎましょう。

対象

中学生・高校生から一般の方まで

講師

臨床検査技師（認定臨床微生物検査技師）



35. 超音波（エコー）検査のお話

内容

人間ドックにおける超音波検査の目的は「病気の早期発見」、「病気の予防のための現状把握」をすることです。本講座では①超音波検査とは？②超音波検査で何がわかるの？③しっかりと観察するために！を画像を交えながら説明させていただきます。

私たちは超音波検査を通じて地域の方々の健康を見守り続けています。

対象

企業、地域住民

講師

臨床検査技師



[←目次へ戻る](#)

36. 誤嚥性肺炎予防

内容

いくつになっても
好きな物が食べられ
る幸せを届けます



この講座は、誤嚥性肺炎を予防することを目的に嚥下と口腔ケアの内容についてパワーポイントを使って説明します。高齢になるにつれて誤嚥性肺炎の患者さんは増えていきます。しかし、60歳で誤嚥性肺炎になる人もいれば、100歳でも元気にご飯を食べている人もいます。この差は为什么呢？この講座では口から食事を食べ続けるコツを「嚥下と口腔ケア」を中心にみなさんに教えます。ぜひ講座依頼をお願いします。

対象

主に60～80代の元気な高齢者を対象にしています。

講師

看護師 言語聴覚士 歯科衛生士

37. 誤嚥性肺炎予防

内容

この講座は、誤嚥性肺炎を予防することを目的に嚥下と口腔ケアの内容についてパワーポイントを使って説明します。高齢になるにつれて誤嚥性肺炎の患者さんは増えていきます。しかし、60歳で誤嚥性肺炎になる人もいれば、100歳でも元気にご飯を食べている人もいます。この差は为什么呢？この講座では口から食事を食べ続けるコツを「栄養と運動」を中心にみなさんに教えます。ぜひ講座依頼をお願いします。

対象

主に60～80代の元気な高齢者を対象にしています。

講師

看護師 言語聴覚士 管理栄養士

いくつになっても
好きな物が食べられる
幸せを届けます

